

レファレンス だより

2010年1月号
No. 86

福岡市総合図書館
図書利用課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2009年10月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
207	2,388	823	618	382
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
681	210	875	1,693	7,877

（開館日 27日 一日平均 290件）



今月のレファレンス徹底解説！

浮世絵師・月岡芳年の描いた「茂林寺の文福茶釜」の絵が載った資料はあるか。絵の隅に、朱書きの文字がある。なんと書かれているか知りたい。

■所蔵資料を確認する

『日本美術作品レファレンス事典 絵画篇 浮世絵』（日外アソシエーツ株式会社 1993年）

2階C12 R702.1/ニ

作者別索引で「芳年」の作品を引く。名称から『新形三十六怪撰』に収録されている1作品ではないかと思われるが、質問された作品を収録した出版物は記載されていない。

『浮世絵大系12 清親』（座右宝刊行会/編 集英社 1976年）1階ボ72 721.8/ウ

上記事典に記載されたこの本を確認すると実際には、p104に「茂林寺の文福茶釜」の図版があるが、カラーでなく問題の字は不鮮明で解読不能。これで作品が『新形三十六怪撰』に収録されていることがはっきりした。

■再度、調査過程で判明した情報で所蔵調査

『新形三十六怪撰』で総合図書館を所蔵調査

『新形三十六怪撰（明治期刊行物（マイクロ版））』（大蘇 芳年/画 佐々木豊吉刊 1889-1892年）

マイクロフィルムを確認→「茂林寺の文福茶釜」の収録あるが文字部分が写っていない。

『新形三十六怪撰』を所蔵調査

「国立国会図書館総合目録ネットワーク」【<http://unicanet.ndl.go.jp/psrch/redirect.jsp?type=psrch>】
国会図書館のみ所蔵と判明。

■資料ではなく絵そのものをインターネットで探す

「貴重書画像データベース」【http://rarebook.ndl.go.jp/pre/servlet/pre_com_menu.jsp】

「茂林寺の文福茶釜」で検索し、画像が2点ヒット。文字を拡大するが、不鮮明で読めず。

「国際日本文化研究センター」>サイト内検索【<http://www.nichibun.ac.jp/>】

「茂林寺の文福茶釜」で検索し、画像1点がヒット。ただし、朱文字が1行しか写っていない。

■視点を変え『日本美術作品レファレンス事典』の出版年である1993年以降の芳年関連資料を検索

「国立国会図書館総合目録ネットワーク」>著者・編者「芳年」×刊行年「1993年～」

『芳年妖怪百景』（月岡 芳年/画 恵 俊彦/編 国書刊行会 2001年）福岡県立図書館に所蔵あり。

「国書刊行会」>好評シリーズ>美術書>妖怪画集【<http://www.kokusho.co.jp/>】

『芳年妖怪百景』の紹介文に「新撰三十六怪撰」全図を始めとして70余点を収録とあり。福岡県立図書館に確認したところ「茂林寺の文福茶釜」が収録されており、文字も判読可能との回答あり。こちらをご案内。



その他にもこんな質問がありました

Q：楊枝についている溝はなんのためのものか。楊枝の歴史も知りたい。

■百科辞典

『日本大百科全書 23 もね-りこ』（小学館 1994年）2階 C1 R131/ニ

楊枝について簡単な説明がある。楊枝は中国から渡来し10世紀半ばには貴族社会において普及していたようである。江戸時代には庶民の間に普及し、様々な種類が作られた。

■習俗関連

『楊枝から世界が見える』（稲葉 修／著 冬青社 1998年）閉架書庫 383.5/1

楊枝の歴史、普及、楊枝産業などについて記載されているが、楊枝の溝はこの部分を折って楊枝置きにするためではなく単なる飾りとある。

『最後の職人伝』（塩野 米松／著 平凡社 2007年）1階ポ66 384.38/シ

楊枝の溝をコケシと呼び、メーカーによって溝の付け方が異なっているとある。

『おもしろ歯の博物誌』（斎藤 安彦／著 創英社 2001年）閉架書庫 497.04/サ

楊枝にまつわる話やルーツなどについて記述がある。

■雑誌

『ESTRELA 2001年9月号』（統計情報研究開発センター）閉架書庫

つまようじ資料室の紹介と共に、楊枝の伝来、世界のつまようじなどについても記述がある。

■新聞

日本経済新聞縮刷版 昭和62年10月号 2階 N8 R071/ニ

「楊枝と奇縁 歴史ほじる」という記事あり。西野精郎さん（大阪府妻楊枝協同組合）によると、頭のくびれた部分を折って楊枝置きにするという風評には何の根拠もなく、昭和30年代半ばに高山の楊枝職人がこけしを模してデザインしたもの（昭和62年10月7日朝刊）。

Q：「〇〇ちゃん」という呼び方は何歳ぐらいまでつかうものなのか？どういう言葉なのかも知りたい。

■国語辞典

『日本国語大辞典 第8巻 せりか-ちゆうは』（小学館 2001年）2階 C1 R813.1/ニ

ちゃん《接尾語》（「さん（様）」の変化したもの）人名、または人を表す名詞に付けて用いる。親しい間柄の人を呼ぶ時や、特に親しみを込めて呼ぶ時に用いる、とある。

■用字用語集

『記者ハンドブック：新聞用字用語集』（共同通信社 2008）2階 B1 R816.07/キ

敬称を付ける場合、付けない場合の解説に、敬称は原則として、「氏、さん、君、ちゃん」を使う、とある。「君」は高校生以下、「ちゃん」は主として小学校入学前。小学生でも事件の被害者や特別なケースでは適宜「ちゃん」を使用してよい、と注意書きがある。

『毎日新聞用語集』（毎日新聞社 2007）2階 B1 R816.07/マ

・・ちゃん「9歳以下をめどとする呼称」とある。

Q：第二次近衛内閣の外務次官の名前が知りたい。外務次官の肩書きに「心得」とつくケースがあるが、「心得」とはどういう意味の役職かも知りたい。

■内閣関連

『歴代閣僚と国会議員名鑑』（憲政資料編集会／編 1979年）2階 C2 R317/レ/ジンメイ14

『最新歴代内閣総覧』（ジェーピー通信社／編 ジェーピー通信社 1996年）2階 D5 R317.21/サ

第二次近衛内閣について第38代内閣総理大臣であり、在任期間は昭和15年7/22～昭和16年7/18と判明。外務大臣名は記載されているが、次官名はなし。

■便覧

『戦前期日本官僚制の制度・組織・人事』（戦前期官僚制研究会／編 東京大学出版会 1981年）2階 D5 R317.03/ハ

該当時期の外務次官名2名の記載があり、松宮順（昭和15年7/25～8/19＜心得期間＞）、大橋忠一（昭和15年8/19～11/12＜心得期間＞、11/12～昭和16年7/21）と判明。

■肩書き関連

『業界別肩書きの辞典』（大門コミュニケーション研究室／編 小学館 2007年）博多 336.4/キ/B

心得について、「〇〇になるための準備期間中にあたる人」とあり。例：部長心得、課長心得など。民間企業ではあまり聞かないが官公庁では古くからあった役職であると記載あり。

Q：うさぎ小屋（屋外一羽用）の作り方やサイズなどがわかる資料はあるか。

■一般書

『うさぎの上手な育て方』（主婦と生活社 1999年）1階ポ76 645.7/ウ

中型種一羽ならば60cm×60cmの広さがあれば十分飼育できる。角材や金網、板を使った小屋の作り方が順を追って書かれている。また、材料については注意点や作成後のメンテナンス方法も書かれている。完成図はイラストで紹介されている。

『ミニウサギの医・食・住』（どうぶつ出版 2008年）1階ポ76 645.7/ミ

「地上に直接置くケージの場合」と「すのこを用いたケージの場合」の2例をイラストで紹介。

『うさぎカラー図鑑・飼い方』（安斉裕司／著 西東社 1999年）1階76 645.7/7

木製小屋の長所・短所についての記述あり。

■児童書

『ふれあいの学級飼育1』（学研 2001年）1階子ども6 64/7

『動物飼育図鑑 3 うさぎ』（マーク・エバンズ／著 偕成社 1993年）1階子ども6 64/エ

『たのしいうさぎの飼い方』（狩野晋／著 有紀書房 1998年）1階子ども6 64/カ

子ども向けの本は、分かりやすい文章で、イラストや写真が多く、作り方や大きさもわかる。

Q：歌舞伎の吹雪の場面に使う雪を表す紙片には、美しく見せるために最適なサイズや厚さがあると聞いた。大阪大学の砂田茂という人物がこのことについて研究しているらしいが、資料はあるか。

■和歌関連

『語りだすオブジェ』（松村由利子／著 本阿弥書店 2008年）1階ポ55 911.16/マ

砂田氏が一辺の長さや密度、厚みを少しずつ変えた50種類ほどの紙片などを空中や水中で落下させる実験をしたところ、回転方向が変化したり、回転運動が横揺れ運動に変わったりする落ち方をしたのは、歌舞伎の雪の演出で使われる紙片だけだった。これは紙片のひとつひとつが複雑なカオス運動をしているためで、ちらちらと雪らしく舞ってみると説明されている。

■新聞

『毎日新聞縮刷版 2000-3』（毎日新聞社 2000年）2階N7 R071/マ

「究める」欄で、砂田氏の実験について触れ、厚みと密度の比がわずかでも違えば、カオス運動にならないことに言及している（2000年3月6日朝刊）。

『日本経済新聞縮刷版 1999-12』（日本経済新聞社 2000年）2階N8 R071/ニ

記事「カオス運動で演出効果」に、歌舞伎の雪は、小道具業者の試行錯誤により30年程前に現在の紙片に統一されたと紹介されている（1999年12月18日朝刊）。

Q：IPCCの最新の報告書はあるか。正式名称も教えてほしい。

（国連寄託図書館）

■所蔵資料

『国際連合の基礎知識』（国際連合広報局／著 関西学院大学総合政策学部 2009年）2階国際A2 F001.00/08-06
IPCCの正式名称は、「Intergovernmental Panel on Climate Change」で、日本語では「気候変動に関する政府間パネル」である。IPCC設立経緯、その後の活動、2007年の統合報告書の概要などが分かる。

■報告書

『Climate Change 2007: The Physical Science Basis』（IPCC, Cambridge U.P., 2007）

第1作業部会の「自然科学的根拠」報告書 2階国連A1 F070.19/07/1

『Climate Change 2007: Impacts, Adaptation and Vulnerability』（IPCC, Cambridge U.P., 2007）

第2作業部会の「影響、適応と脆弱性」報告書 2階国連A1 F070.19/07/2

『Climate Change 2007: Mitigation of Climate Change』（IPCC, Cambridge U.P., 2007）

第3作業部会の「気候変動の緩和」報告書 2階国連A1 F070.19/07/3

統合報告書『Climate Change 2007: Synthesis Report』は、未出版だがネットには公開されている。

（ご紹介した国連資料は英文です。所蔵資料は館内で閲覧ください）

■関連資料

『IPCC 地球温暖化第四次レポート気候変動2007』（IPCC／編 文部科学省／訳 中央法規出版 2009年）

2階E7 451.35/7

上記報告書のうち「政策決定者向け要約」と「技術要約」を収録している（日本語）。

■インターネット

IPCCのホームページ【<http://www.ipcc.ch/>】

第1作業部会～第3作業部会の報告書及び統合報告書が、全文PDFファイルで入手可能（英文）。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『新編国歌大観』

(「新編国歌大観」編集委員会／編 角川書店 1983年～1992年) 2階 C13 R911.10/3

『万葉集』から近世までの和歌を調べるときに活躍するのがこの資料です。内容は、第1巻「勅撰集編」、第2巻「私撰集編」、第3巻「私家集編1」、第4巻「私家集編2 定数歌編」、第5巻「歌合編 歌学書・物語・日記等収録歌編」、第6巻「私撰集編2」、第7巻「私家集編3」、第8巻「私家集編4」、第9巻「私家集編5」、第10巻「定数歌編2 歌合編2 補遺編」です。各巻は「歌集」編と「索引」編があり、計20冊で構成されています。各巻の索引編は、歌の第二句以降の句からも検索できます。ただし残念ながら全巻を通しての索引はありません。そのため、調べたい和歌がどの巻に属するかの見当が付かない場合、各巻の索引を引くことになります。

そこでこちら！

★CD-ROMが便利です！

当館所蔵のCD-ROM版『新編国歌大観』を使ってみましょう。(ご利用は、2階のレファレンスカウンター1でお申し込みください)

CD-ROM版では和歌本文、詞書などの語彙検索ができ、ほかに歌集・歌番号による検索、勅撰和歌集については作者での検索も可能です。複合検索の結果をさらに絞り込む機能も付いています。

使ってみました！⇒小倉百人一首に歌われている「ひさかたの/ひかりのどけき/はるのひに」まで分かっているとき、その続きと作者を調べる！

■冊子体を使う・・・①「百人一首」がどの巻に収録か確認するため、10巻歌集編の巻末「全十巻収録作品一覧」を探す(ここで時間がかかります)。5巻「歌学書・物語・日記等収録歌編」の中に発見。②5巻索引編より「ひさかたの」を引くと、3句まで一致する句6首の中に「276 百人首 三三」とある。巻頭「略称一覧」より「百人首」は「百人一首」の略。③歌集編を確認、全文と作者名あり。また、百人一首の和歌が勅撰和歌集から選ばれていることを知っていれば、①1巻「勅撰集編」を確認。索引編で「ひさかたの」の項を引くと、「ひかりのどけき」と続く歌は2首。歌集編で確認すると3句目まで一致する歌は1首。古今和歌集巻第二春歌下、八十四「桜の花のちるをよめる きのともり 久方のひかりのどけき春の日にしづ心なく花のちるらむ」とあります。

■CD-ROMを使う・・・“句検索”で「ひさかたの」「ひかりのどけき」「はるのひに」を入力すると、全巻検索結果で10件ヒット。古今和歌集、百人一首ほか収録されている歌集名等が確認できます。⇒手がかりが少ない場合、CD-ROMを利用すると簡単に調べられますよ！

インターネットにも、和歌のデータベースがありますので1つご紹介します！

「国文学研究資料館」>「データベース」>「二十一代集(和歌)」【<http://www.nijl.ac.jp/>】
同資料館所蔵の正保版本二十一代集を底本としたデータベースで、『古今和歌集』に始まる全ての勅撰和歌集を調べるツールです。和歌本文、詞書、作者などの項目にキーワードを入力し、検索することができます。



新年、あけましておめでとうございます！

お正月はいかがお過ごしでしたか？初詣、お雑煮、お年玉、年賀状…。百人一首に興じた方はいらっしゃいますでしょうか？一月は歌会始もありますね。今月の一冊の本は、和歌を調べるときの資料を選びました。年頭にあたって、ご自分で和歌を詠んでみてはいかがでしょうか？楽しそうですね。今年もより楽しく活用していただけるレファレンスだよりをお届けしたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。(紙面の都合により、「図書館活用術」のコーナーをお休みしました。)